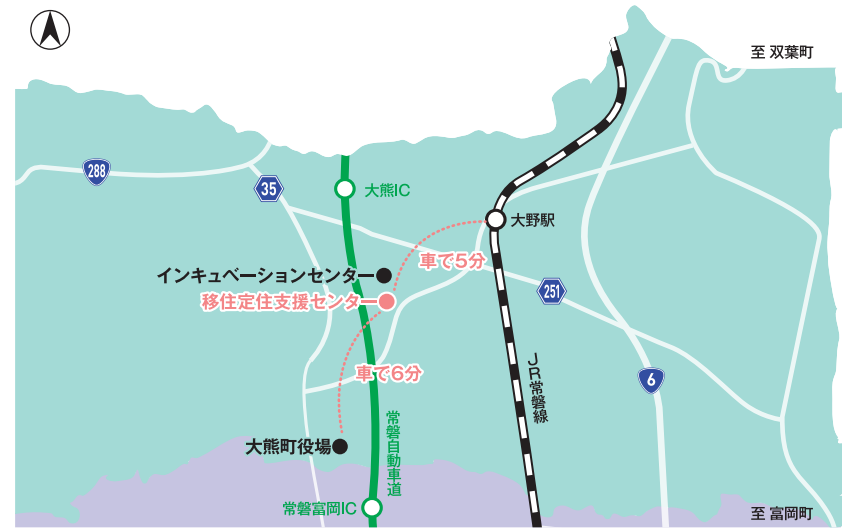


ACCESS INFORMATION



移住・定住のお問合せはこちら

大野駅から
車で
5分



移住定住支援センター

〒979-1308
福島県双葉郡大熊町大字下野上字清水307番地1

TEL.0240-23-7103

FAX.0240-23-7139

こんな相談ができます お気軽にご相談ください

住む場所は
どんなところ？

どんな仕事か
あるの？

子育て環境は？

移住の補助金は
あるの？



大熊町役場 生活支援課

〒979-1306
福島県双葉郡大熊町大字大川原字南平1717番地

TEL.0240-23-7456

FAX.0240-23-7846



移住定住特設サイト



大熊から始まる、ここから始める。
わたしらしく、新しい生活。

このまちの、
みらいと
-2023-

GUIDEBOOK FOR LIVING IN OKUMA TOWN
移住ガイドブック

あなたとつくる 未来のふるさと

大熊町



OKUMA with YOU

これからの大熊町を あなたと

大熊町は、果物の栽培が盛んで“フルーツの香り漂うロマンの里”というキャッチフレーズがびっぴりの町でしたが、2011年3月に発生した東日本大震災および原子力災害により、全町避難を経験しました。しかし、2019年には一部避難指示が解除され、2022年には町の中心地区の避難指示も解除されるなど、今まさに、大きな転換期を迎えています。これから未来へ向けて歩みを進めていく第一歩として、ゼロカーボン宣言をし、環境にやさしいまちづくりに取り組むことにしました。災害を経験した町だからこそ、真剣な取り組みです。

これから更に賑わいのある、新たな大熊町の未来をつくるためには、町民や移住する方など多くの方の「知恵と力」が必要不可欠です。そのための様々な取り組みが始まっています。一步一步前進していく大熊町で、ともに新しい生活を始めてみませんか？



基本情報

気候

夏は海からの風が涼しく、冬は積雪が少ない、温暖な気候です。

特産品

最先端技術で栽培される「いちご」と、町内産酒米を使用した日本酒「帰忘郷」がおすすです。



位置

福島県浜通り中央部に位置し、東は海、西は山に面した町です。富岡町・双葉町・浪江町に隣接し、アクセスも良好(P3参照)。



放射線量

町内全域のモニタリング検査を実施しています。



TO THE FUTURE

未来への取り組み

大熊町では新たな未来づくりを目指し、生活環境の充実を図るための施策を展開しています。町の活性化に加え、より多くの方が安心して暮らせるまちづくりを進めています。

2023年度
完成



学び舎ゆめの森

常磐道からその外観を見ることができる、3層に積み重なったウェディングケーキのような、日本のどこにもない、学校らしからぬ外観の建物。それがゆめの森の校舎です。大熊町の未来を切り拓く、新しい町のシンボルとして2023年に誕生しました。認定こども園、義務教育学校、預かり・学童保育を一体にした、0歳～15歳までの幅広い年齢層が一同に過ごすことのできる町立の施設です。子どもたちの教育だけでなく、その子どもたちの保護者である大人も、安心して子育てと仕事の両立ができる環境を整えます。

おおくまが目指す未来の教室

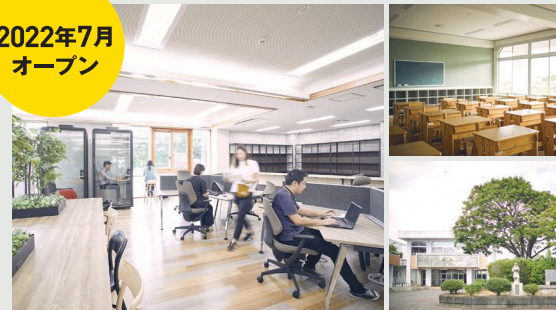
ゆめの森の教育は、実社会での課題発見・解決ができるよう、各教科での学習を強化し、横断的な学びを推進します。目的達成のため温故知新の理念のもと、「混在と多様性」「デジタルとアナログ」をキーワードに、教科の個別最適化(デジタル)・探究のSTEAM[®]化(アナログ)の循環的な学びと、SDGsの目標17項目の具現を図るため、本町の総合的な学習の時間の総称である「未来デザインの時間」学習に注力します。

※STEAMは、Science(科学)・Technology(技術)・Engineering(工学)・Arts(芸術・デザイン)・Mathematics(数学)の頭文字から成る言葉です。

学び舎ゆめの森の詳細は
右記二次元コードより
WEBページをご覧ください



2022年7月
オープン



インキュベーションセンター

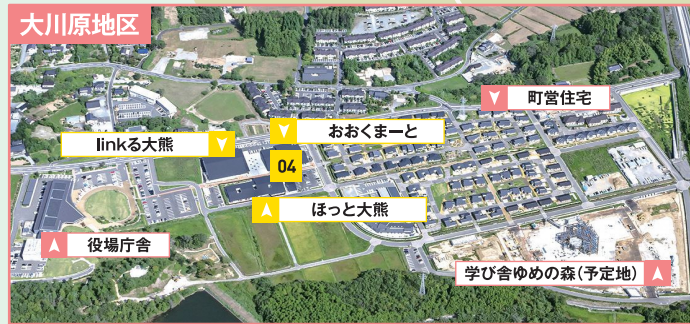
大熊町ならではの新たな産業づくりや未来を担う若手起業家などを育てる場所づくりを目的に、令和4年4月に町立大野小学校の校舎を改修しインキュベーションセンターが完成しました。コワーキングスペースやシェアオフィス等が設置され、どなたでも利用可能な交流スペースも整備されています。地域課題を解決する産業や次世代のサービス・製品の開発に取り組む企業等呼び込み、育て、住みやすく働きやすい魅力ある町の実現と、大熊町でしかできない産業の創出を目指しています。

2024年12月
オープン



駅前開発

震災前、JR常磐線大野駅周辺は数多くの商店が立ち並び、町の賑わいの中心地でした。2020年3月に震災から約9年ぶりに大野駅の営業が再開され、2022年6月には周辺の避難指示が解除されました。2024年12月には様々な企業が入居する産業交流施設と商業施設などがオープンします。その他、社会教育複合施設の検討も進められており、町の顔として魅力ある機能を集結させた賑わいの中心地として再開発します。



linkる大熊 おおくまーと ほっと大熊



OKUMA LIFE MAP

暮らしマップ

大熊町での生活で欠かせない施設を紹介します。運動スタジオやキッズスペースなどがあるlinkる大熊や、日用品やカフェの集まる多くマートに加え、宿泊や日帰り入浴ができるほっと大熊など日常生活を豊かにする施設も盛りだくさん。近隣町へのアクセスも良く、毎日の暮らしに彩を添えてくれます。

無料 生活循環バス情報

大熊町と富岡町の各町内を循環する生活循環バスを運行中です。ゼロカーボンを目指す取り組みの一環として、2021年4月から電気バスも導入しています。どなたでも利用できる年中無休のサービスです。

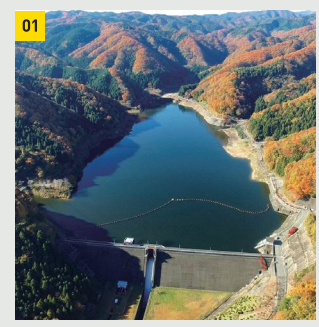
医療施設情報

- E 大熊町診療所.....車で約 1分
- F ふたば医療センター附属病院.....車で約15分
- G 富岡中央病院.....車で約15分
- H とみおか診療所.....車で約15分

※今後、現在休止中の県立大野病院の後継病院を、地域医療の中核として新たに町内へ整備します。

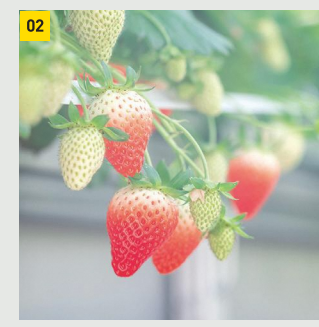
町内及び近隣

- A 道の駅なみえ.....車で約20分
- B イオン浪江店.....車で約20分
- C 東日本大震災・原子力災害伝承館.....車で約16分
- D インキュベーションセンター.....車で約 5分
- I JA福島さくら 大熊SS.....車で約10分
- J さくらモールとみおか.....車で約15分
- K ならはスカイアリーナ.....車で約25分
- L ここなら笑店街.....車で約25分
- M 天神岬スポーツ公園.....車で約29分
- N Jヴィレッジ.....車で約30分



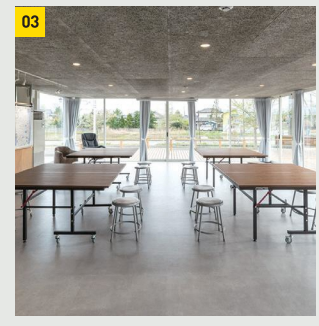
坂下ダム

大熊町の四季折々の姿を楽しむことのできるスポット。春は桜、夏は紫陽花、秋は紅葉など季節ごとに訪れてほしい場所です。



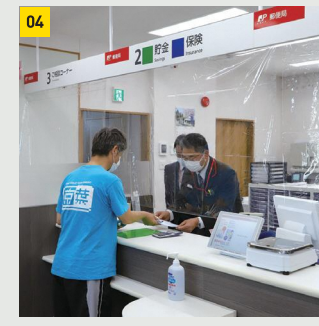
ネクサファームおおくま

最先端の技術でいちごに適した環境を管理し、周年栽培・販売を行う施設。GAP認証を取得し安心安全ないちごを提供しています。



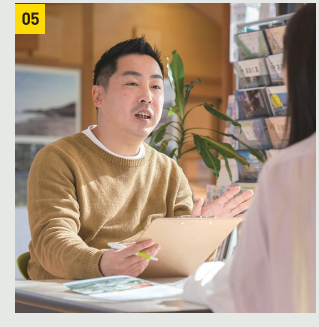
KUMA・PRE

地域のイベントや、町の情報を独自で発信しています。パランピックの正式種目である「ボッチャ」を気軽に楽しめます。



大熊郵便局

郵便窓口、保健窓口は平日のみ利用可能です。また、ATMは土曜日祝日も利用可です。



大熊町移住定住支援センター

大熊町への移住をサポートする施設です。住む場所、お仕事、支援制度などの相談対応や、町内見学ツアーを実施しています。



るるるん電力

ゼロカーボン推進によるCO2ゼロ達成のために生まれた地域新電力会社。生活に寄り添った料金メニューを提供します。

OKUMA PEOPLE

大熊町で活躍する人たち



大熊の自然とともに暮らす

震災直後の2011年4月にワーキングホリデーでフランスから来日し、2023年から大熊町に住んでいます。イラストレーターとして赤べこや起き上がり小法師など福島をモチーフにしたイラストやオリジナルグッズを作成する傍ら、福島第一原発の地元から「福島は安全」を発信しようと大熊町で農業をしています。パーマカルチャーというエコロジックな農業をしながら自然に近い暮らしをしています。(ブケ・エミリーさん/農家・イラストレーター)



都内から第二のふるさとへ

町の式典などを行う多目的ホール・運動スタジオ・図書スペース等を備えた交流スペースで働いている事から、地域の様々な方と触れ合う機会を頂いています。私は神奈川県出身で、妻が大熊町の出身という縁でこちらに移住したのですが、地域の方々の人柄や気候が穏やかで、とても暮らしやすいです。都内でシステムエンジニアとして働いていた頃よりも、圧倒的に身体の調子が良くなりました。(三枝恭さん / linkる大熊施設長)



新しいことにチャレンジできる町

最先端の技術を導入したいちごの生産施設で、いちごの生産・販売を行っています。復興事業として立ち上げから携わり、新しい産業と雇用を生み出した事は、とてもうれしい経験でした。今後、学校や住宅、大野駅周辺施設も充実してくるので、新しい事に挑戦しやすい環境が整います。不足している部分はまだまだありますが、意欲のある方はぜひまちづくりに参加して欲しいです。(徳田辰吾さん / ネクスファームおおくま 取締役兼工場長)

ZERO CARBON TOWN 移住に関する補助制度

ゼロカーボン宣言の町 大熊

大熊町では原子力発電や化石エネルギーに頼らず、地域の再生可能エネルギーを活用した持続可能なまちづくりに取り組んでいます。未来を担う子どもたちが、誇りをもって語れる町を目指します。

住宅の購入[新築・中古]

来ておおくま補助金
最大500万円

大熊町に転入し、自身で居住する住宅を取得する方への補助金。最大500万円が申請可能です。中古の場合は購入に最大200万円、修繕に250万円までそれぞれ申請が可能です。

ZEH住宅への支援[新築]

ZEH住宅を建築
最大500万円

ZEH基準への適合住宅である場合に、最大500万円の申請が可能となる補助金です。

例)3,000万円の**新築住宅**の場合

**住宅の購入に
最大1,000万円を
補助!**

※中古住宅は最大700万円の補助申請が可能

省エネリフォームへの補助[中古]

対象経費の2/3
最大150万円

町内の住宅や事業者に関し、省エネ型のリフォーム(エコキュート・高効率エアコンの導入、オール電化、断熱性能の向上等)を行う際に申請できる補助金です。

太陽光パネル導入補助金[新築・中古]

最大出力(kw)×10万円
5kwの場合 100万円

住民や事業者が、大熊町内の住宅に太陽光パネルを設置する際に申請ができる補助金です。
※蓄電池にかかる補助金(最大50万円)の申請を想定
※ZEH住宅補助との併用はできません。

家賃補助

最大月4万円

大熊町に転入し、自身の住居として民間賃貸をご契約される方への補助金。家賃の半分(最大月々4万円)まで申請が可能です。

移転費用補助

世帯構成や引越し元別に
最大20万円

大熊町に転入し、1年以上継続して居住している方への補助金。県外からの移転で最大20万円、県内からの移転で最大15万円が申請可能です。



乳幼児・子ども医療費に関する支援

無償化

0~18歳年度終了までのお子様にかかる医療費についての窓口負担の無償化(手術での治療や接骨院等については後日申請にて還付)



次世代モビリティ導入補助金

EVの場合
最大110万円

町内での生活、または、事業用として新たにEVで110万円、PHVで60万円、FCVで250万円の申請が可能となる補助金です。



保育料・預かり保育料に関する支援

無償化

認定こども園学び舎ゆめの森に通う0歳から卒園までのお子様の保育料・預かり保育料を無償化。その他の経費(給食費等)についても無償化。



お試し住宅

無償

移住前に大熊町での日常生活を実際に体験できます。移住後のミスマッチ防止を目的とし、暮らし体験プログラムを通じて、町の生活が体験できます。



その他の手厚い支援

生活に関する支援



仕事に関する情報



※2023年9月現在の情報です。補助金を申請するには各種要綱に定められた条件を満たす必要があります。詳細についてはご相談ください。



生活循環バス



桜と特急ひたち



魚定食おしだ



坂下ダムウォーキング



希望の灯り



田植え風景



linkる大熊の図書コーナー



喫茶レインボー



成人式



超小型電気自動車(EV)シェアリング



大熊町公認キャラクターまあちゃん



3.11追悼イベント

#okumagram

おおくま暮らしを切り取る

大熊町の暮らしの一部を切り取り、ご紹介します。大熊町は参加型のイベントや行事、おいしいグルメなどがあり、ほっと一息つける場所です。そんな大熊町のほっとスナップを集めました。



ひまわり



大熊町役場



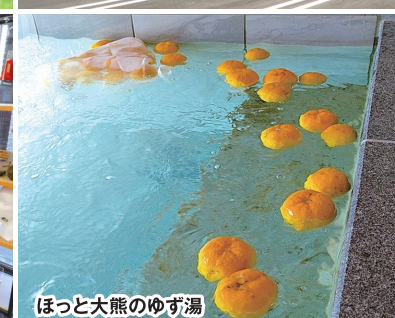
和食ざかい



linkる大熊のボルダリング



鈴木商店



ほっと大熊のゆず湯



夏まつり



大熊の酒「帰忘郷」



大山祇神社の狛犬



大川原地区の住宅地



餅つき